

事業名	130-09 みやざきWOOD・LOVE推進事業	新・改・ 既	課名	山村・木材振興課 (みやざきスギ活用推進室)
		国庫 ・ 県単		

1 事業の目的・背景

木材利用の意義について県民への理解を促すため、「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や、園児等を対象とした「木育」を推進する。

2 事業の概要

(1) 予算額 15,187千円

(2) 財源 国庫（デジタル田園都市国家構想推進交付金）：7,189千円
森林環境譲与税基金：7,998千円

(3) 事業期間 令和4年度～令和6年度

(4) 実施主体 県①②
木育ネットワーク部会会員（木育に取り組む県内の団体）②

(5) 事業内容

- ① みやざき木づかい活動推進事業
 - ・みやざき木づかい県民会議による木づかい運動の展開
- ② みやざき木育推進事業
 - ・木育プログラムの開発、木育指導者等の養成及び体制の構築
 - ・木育活動や木製遊具整備への支援（補助率 1/2以内）
- ③ 県推進事務費

3 事業効果

木材利用の意義への理解促進により、県産材の需要拡大や2050年ゼロカーボン社会の実現に寄与する。

【現状と課題】

- (1) 「木材利用促進条例」や「改正木材利用促進法」の施行等により、木材利用への気運が高まってきており、全県的な木づかい運動を加速化させる取組が必要である。
- (2) 木材利用への県民理解を深める木育活動を着実に推進するため、人材育成も含めた推進体制の構築が必要である。

【事業内容及び効果】

(1) みやざき木づかい活動推進事業

①みやざき木づかい県民会議による木づかい運動の展開

- ・総会の開催
- ・地域みやざき木づかい県民会議（7地区）と連携した普及啓発活動の実施



感謝状の贈呈



事例発表

(2) みやざき木育推進事業

①木育プログラムの開発、木育マイスター等の養成及び体制の構築

- ・県産材を教材とした園児等向け木育プログラムの開発
- ・木育に必要な指導者の養成及び指導用テキストの製作

②木育活動や木製遊具整備への支援



木育マイスターによる木育プログラムの実施



木製遊具整備への支援

県産材の需要拡大・2050年ゼロカーボン社会の実現